

ちよつとそんまげ

わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる
古里の温もりに包まれながら
あちらこちら、わがまち散歩



町の東方に位置する上陳・下陳・北向地区。麗らかな春の陽気に誘われながら、今回で2度目となる同地区の散歩では、さらにすてきな発見と温かい出会いがありました。



春を告げる桜の開花。町内では今年も見事に咲いています

ホタルが舞う金山川 保育所最後の笑顔

のどかな里山の風景が広がる上陳・下陳地区。緑川水系木山川支流の金山川下流域では、秋から春にかけて「冬水田んぼ」の光景が広がります。冬水田んぼは稲刈り後に水を張ることにより減肥、減農薬を目指す環境保全型の農業です。併せて地下水を蓄える取り組みでもあり、町の風物詩の一つです。金山川では、初夏の頃にはホタル



11月～3月にかけて冬水田んぼの風景が見られます



緩やかな金山川の流れ。毎年、初夏にはホタルが舞います

ルが舞うそうです。穏やかな金山川の流れや清らかな水が、ホタルにとって生息しやすい環境をもたらしているのでしょう。古里にこうした場所が残っているのは、幸せなことではないでしょうか。上陳地区にある町立第3保育所で、3月の卒園を前にした年長さんたちがクッキー作りを楽しんでいました。この号が発行される4月からは、小学校のピッカピカの1年生です。



元気な笑顔を見せてくれた第3保育所の園児たち。春からは新1年生です

偉人、志賀哲太郎の 顕彰碑

津森小近くに、日本統治時代の台湾で、26年間初等教育に尽力した町出身の志賀哲太郎氏の顕彰碑があります。

志賀氏は明治の頃に台湾台中の大甲に渡り、現地の教育に大きな足跡を残した人物です。現地では「大甲の聖人」と敬われ、その死後